

標準仕様書

W-LINE

品名 出入管理ソフト (Web対応)

型式 Ws-s800

*** 目 次 ***

1.	概要	1
2.	システム構成	1
2-1.	機器構成	1
2-2.	管理・接続台数	1
2-3.	動作環境	2
3.	基本機能	3
3-1.	個人管理（個人登録）	3
3-2.	ゲート管理（ゲート編集）	4
3-3.	センサポイント管理（ゲート編集）	4
3-4.	フィルタ機能（ユーザグループ）	4
3-5.	履歴データ管理（報告書）	5
3-6.	エリア管理	6
3-7.	履歴表示（データモニタ）	6
3-8.	フロア表示（マップステータス）	7
3-9.	ステータス表示	7
3-10.	システム設定	8
3-11.	お気に入り機能	8
4.	Webブラウザ機能	9
4-1.	ログイン	9
4-2.	画面	9
5.	系統図	10
5-1.	管理用パソコン1台運用	10
5-2.	管理用パソコンとクライアントパソコン複数台運用	11
6.	登録商標について	11

1. 概要

本アプリケーションソフトWs-s800は、W-LINEにて構成されるシステムのデータ管理を行うソフトである。

2. システム構成

2-1. 機器構成

(1) 管理用パソコン1台運用

1) 制御装置	(下記装置最大接続数の合計) 120台	
a. 出入管理装置	WA-01/02	
	WA-08/16	
	WFC-08/16	
b. センサ監視盤	WSENS-06/24	
2) 管理用パソコン		1台
3) 出入管理ソフト	Ws-s800	1式

(2) 管理用パソコンとクライアントパソコン複数台運用

1) 制御装置	(下記装置最大接続数の合計) 120台	
a. 出入管理装置	WA-01/02	
	WA-08/16	
	WFC-08/16	
b. センサ監視盤	WSENS-06/24	
2) 管理用パソコン		1台
3) クライアントパソコン		5台
4) 出入管理Webソフト	Ws-s800	1式

2-2. 管理・接続台数

本システムでは出入管理装置、センサ監視盤、エレベータ制御盤を最大合計120台まで接続可能である。但し、最大ゲート数は1920ゲートとする。

(1) ゲート数

最大1920ゲート

2-3. 動作環境

(1) 管理用パソコンスペック

1) ハードウェア

- a. CPU Intel Core2 Duo 2.0GHz以上
- b. メモリ 2GB以上
- c. HDD 100GB以上

2) 対応OS

- a. Windows 2003 Server/Windows 2008 Server
(ただし、WindowsXP SP3/Windows7の環境下でも動作可能)

3) ソフトウェア

- a. Webサーバ Apach Tomcat5.5
- b. Java JRE 1.6
- c. データベース PostgreSQL8.2.6
- d. Adobe Flash Player 10.1
※上記ソフトウェアはインストールCD内に含みます
- e. Internet Explorer6/7/8

(2) クライアントパソコンスペック

下記ソフトウェアが動作する環境であること。

1) ソフトウェア

- a. Adobe Flash Player 10.1
- b. Internet Explorer6/7/8

3. 基本機能

3-1. 個人管理（個人登録）

(1) 個人登録件数

システム最大登録可能人員は、WA-02は、40,000名（拡張基板実装時）、WA-08/16は、30,000名である。

(2) 個人情報

- 1) 半角英数字3桁～20桁の個人IDを登録することが可能である。
PaSoRiで読取ったコードを表示させることが可能である。
- 2) 発行回数を半角英数字0～2桁で登録することが可能である。
- 3) 氏名を全角30文字まで登録することが可能である。
- 4) カナを全角60文字まで登録することが可能である。
- 5) 顔写真の登録が可能である。
- 6) 所属・区分の登録が可能である。
所属を登録するとその所属の通門デフォルトが、自動的に登録される。
- 7) 代替コードの登録が可能である。
- 8) 更新日の管理が可能である。
- 9) 利用開始日を2037年12月31日まで設定することが可能である。
- 10) 個人ID、代替IDに有効期限を2037年12月31日まで設定することが可能である。
- 11) ゲートごとの通門可/不可の設定が可能である。
通門デフォルトと通門編集により個人ごとの通行設定が可能である。
- 12) パスワードを設定し操作権限をもたせることが可能である。
- 13) 警備セット時に、警備解除許可・不可を設定することが可能である。
- 14) アンチパス制限が、有効か無効を設定することが可能である。
- 15) 監視カードであるか否かの設定が可能である。
- 16) リーダ操作禁止が、有効か無効を設定することが可能である。
- 17) テンキー暗証番号半角数字4桁を登録することが可能である。
- 18) 任意の情報を登録することが可能である。
全角文字100文字を5項目まで登録可能である。

(3) 所属を管理することが可能である。

- 1) 1,000種類まで登録可能である。
- 2) 名称全角30桁、カナ全角60桁まで登録することが可能である。
- 3) 所属は、通門デフォルトを設定することが可能である。
- 4) 階層（例：部一課一係）で管理することが可能である。

(4) 区分を管理することが可能である。

- 1) 1,000種類まで登録可能である。

- 2) 名称全角30桁、カナ全角60桁まで登録することが可能である。
- 3) 階層で管理することが可能である。
- (5) 入退室制限時間帯、臨時入退室制限時間帯の設定を行うことが可能である。
設定データはシステム共有である。
- (6) 個人、所属、区分のインポート/エクスポートが可能である。
個人データのインポートする項目は、指定可能である。
- (7) 個人データを自動でリアルタイムまたは設定時刻にインポートすることが可能である。
またインポート後に装置へ送信することも可能である。
- (8) 個人一覧
 - 1) 個人情報の各項目は、表示・非表示の設定が可能である。
 - 2) 抽出条件(所属、区分、送信状態、登録状態)により、表示させる個人を絞り込むことが可能である。
 - 3) 一覧から検索(個人ID、氏名、カナ)し個人を選択することが可能である。
 - 4) 一覧に表示した個人情報をファイル出力(テキスト、CSV)または印刷することが可能である。
- (9) 複数の個人を一括で登録送信・削除・消去することが可能である。
- (10) 複数の個人のゲート通門可/不可の設定を一括変更することが可能である。
- (11) 個人情報を変更したとき、その変更内容がログとして残し、管理することが可能である。
 - 1) 期間指定、ログインID指定して抽出することが可能である。
 - 2) 編集した年月日時分秒、編集内容、変更前の個人情報がログとして残る。

3-2. ゲート管理 (ゲート編集)

- (1) ゲート名称を全角30文字にて設定することが可能である。
- (2) 連続解錠時間帯の設定を最大1920種類まで設定することが可能である。
- (3) ゲートごとに使用する連続解錠時間帯の設定を行うことが可能である。
- (4) ゲート情報を印刷またはCSV、テキストファイルでインポート/エクスポートが可能である。
- (5) 連続解錠時間帯設定を一斉送信することが可能である。

3-3. センサポイント管理 (ゲート編集)

- (1) 名称を全角30文字にて設定することが可能である。
- (2) センサ情報を印刷およびCSV、テキストデータでのインポート/エクスポートが可能である。

3-4. フィルタ機能 (ユーザグループ)

各クライアントパソコンから閲覧・登録できるデータに制限をかけることが可能である。
但し、システム管理者では全ての情報が参照可能である。

(1) ユーザグループごとに以下のデータを管理することが可能である。

- 1) ゲート、エリア
- 2) 履歴管理（ゲート発生、入退、操作）
- 3) 個人、所属、区分
- 4) 連続解錠時間帯
- 5) 在室管理

(2) 以下のデータは、システムで共有管理する。

- 1) フロア
- 2) 入退室制限時間帯
- 3) カレンダー

(3) 以下のデータは、ログインIDごとに管理する。

- 1) お気に入り検索条件
- 2) タブ設定

3-5. 履歴データ管理（報告書）

(1) 履歴データの保存件数

- 1) パソコンのハードディスクの空き容量に依存する。
- 2) 履歴データの一括バックアップを行うことが可能である。
- 3) 履歴データを自動的にファイル出力することが可能である。
 - a. 全体またはユーザグループごとに出力することが可能である。
 - b. 設定時間に、当日または前日の履歴データを出力することが可能である。
 - c. 自動的に出力する・しないの設定が可能である。

(2) 履歴データを以下の条件を設定し、抽出することが可能である。

- 1) 対象データは、現データ（現在の管理しているデータ）かバックアップしたデータかを選択することが可能である。
- 2) 対象期間は、年月日時分～年月日時分まで指定することが可能である。
- 3) 対象ゲートは対象の1つのゲートまたは複数ゲートを選択することが可能である。
- 4) 対象個人は複数の個人または複数の所属・区分を指定することが可能である。
- 5) 対象履歴を、全履歴、警報履歴、任意の履歴選択することが可能である。
- 6) 一度設定した抽出条件を「お気に入り」として登録することが可能である。

(3) 抽出結果の表示項目は、任意に設定することが可能である。

(4) 抽出結果に任意のタイトルを付けることが可能である。

(5) 抽出した結果をファイル出力（エクセル、テキスト、CSVファイル）または印刷することが可能である。

3-6. エリア管理

- (1) エリアごとに、そこにいる個人を表示および管理することが可能である。
- (2) 複数ゲートを1つのエリアに登録することが可能である。
- (3) 個人を、別エリアに移動させることが可能である。
- (4) 個人をどのエリアにもいない状態にすることが可能である。
 - 1) その個人は、1度だけアンチパスバックの制限なしでゲートを通行が可能となる。
 - 2) 設定期間を超えて、同じエリアにいる個人は、設定時刻に自動的にどのエリアにもいない状態にすることが可能である。
- (5) リアルタイムにエリア内にいる個人の一覧表示は更新される。
- (6) エリア内にいる個人一覧の表示項目の設定により任意に設定することが可能である。
- (7) エリア内にいる個人一覧を印刷およびファイル出力(CSV、テキスト)することが可能である。
- (8) 全エリアにいる個人をクリアすることが可能である。

全ての個人は、1度だけアンチパスバックの制限なしで通行可能となる。
- (9) エリアにいた時間、入った回数を集計することが可能である。
 - 1) 日報、月報、年報で集計することが可能である。
 - 2) エリアまたは個人を指定して集計することが可能である。
 - 3) 集計結果は、ファイル(エクセル、テキスト、CSVファイル)出力することが可能である。
 - 4) 入った回数は、対象エリアへ入った履歴件数を集計する。
 - 5) エリアにいた累積時間は、対象エリアに入った履歴と出た履歴の組み合わせから集計する。

3-7. 履歴表示(データモニタ)

- (1) 発生したデータをリアルタイムに表示することが可能である。

表示件数は100件固定である。ただし、設定により表示件数を変更することは可能である。
- (2) 表示する項目は、設定変更可能である。
 - 1) 発生日時
 - 2) 個人情報(個人ID、氏名、カナ、代替ID、所属、区分、顔画像、備考1~5)
 - 3) ゲート情報(ゲート番号、ゲート名称)
 - 4) 履歴内容
- (3) 表示する履歴を全件、警報、ゲート、履歴内容で絞り込むことが可能である。
- (4) 履歴から、その個人の編集および登録が可能である。

3-8. フロア表示 (マップステータス)

- (1) 画面構成
 - 1) メインには、現在操作しているフロアを表示する。
 - 2) サムネイルには、フロア一覧が表示される。
- (2) ゲート、センサ、エリアの状態をマップ上に表示することが可能である。
- (3) 複数のポイントを指定して、遠隔操作を一斉に行うことが可能である。
- (4) ゲート、センサ、エリアの状態をマップ上に表示することが可能である。
 - 1) ポイントは、記号 (丸、三角、四角、ひし形) や絵 (扉、自動扉、センサなどの任意の画像) を設定することが可能である。
 - 2) ポイントのサイズは、設定変更可能である。
 - 3) 状態変化により、ポイントは色または形状が変化する。
- (5) 遠隔操作画面には、ゲート情報 (ゲート番号/名称、状態、ガイダンス、メモ欄) を表示する。
- (6) ゲートを選択し以下の操作が可能である。
 - 1) ゲートを遠隔で一回解錠、連続解錠、施錠させることが可能である。
 - 2) 通行可能者一覧を表示することが可能である。
 - 3) 選択したゲートに関わる履歴を表示させることが可能である。
- (7) センサを選択し以下の操作が可能である。
 - 1) センサを遠隔で警備セット/解除、発報リセットが可能である。
 - 2) 選択したセンサに関わる履歴を表示させることが可能である。
- (8) エリアを選択し以下の操作が可能である。
 - 1) エリアにいる個人の一覧を表示させることが可能である。
 - 2) エリアにいる個人を、どのエリアにもいない状態にすることが可能である。
- (9) 異常発生中、復旧の情報 (発生日時、内容など) を表示させることが可能である。
マップ用データは、画像ファイル (JPG、GIF、PNG) であれば登録可能である。

3-9. ステータス表示

- (1) ゲート、センサ、出入管理装置、センサ監視盤、リーダの状態を一覧で表示することが可能である。
- (2) ゲートおよびセンサは、グループ単位での表示が可能である。
 - 1) 棟、フロア、エリアごとに表示することが可能である。
 - 2) 階層 (例: 棟-フロア-エリア) に分けることが可能である。
- (3) ゲート状態 (施解錠・扉開閉・警備・警報) をリアルタイムに表示することが可能である。
- (4) ゲートを遠隔で連続解錠・1回解錠・施錠・警備セット/解除する事が可能である。
- (5) センサの状態をリアルタイムに表示することが可能である。
- (6) センサを遠隔で警備状態のセット/解除、発報リセットすることが可能である。

(7) 遠隔操作画面には、ゲート情報(ゲート番号/名称、状態、ガイダンス、メモ欄)を表示する。

3-10. システム設定

- (1) 1年間の平日・休日・特日1~8まで任意に設定することが可能である。
 - 1) カレンダーデータは、システムで共有となる。
 - 2) システム管理者権限のユーザは、設定変更が可能である。
 - 3) システム管理者権限以外のユーザは、参照のみ可能である。
- (2) システム全体の時刻を、同期させることが可能である。
- (3) システムの設定データ、登録データなどをバックアップすることが可能である。
- (4) 出入管理Webソフトで操作した内容をログとして残し、管理することが可能である。
 - 1) 期間指定、個人(個人、ユーザグループ、所属、区分)指定して抽出することが可能である。
 - 2) 抽出結果は、印刷またはファイル出力(CSV、テキスト、エクセルファイル)することが可能である。

3-11. お気に入り機能

- (1) 各機能での設定、条件などをお気に入りとして登録することが可能である。
- (2) 個人ごとにお気に入りを管理することが可能である。
- (3) 登録したお気に入りをリストで表示させることが可能である。
- (4) お気に入りとして登録可能なものを以下に示す。
 - 1) 個人検索条件
 - 2) 所属検索条件
 - 3) 区分検索条件
 - 4) ゲート検索条件
 - 5) エリア検索条件
 - 6) 報告書抽出条件
 - 7) 操作ログ報告書抽出条件

4. Webブラウザ機能

4-1. ログイン

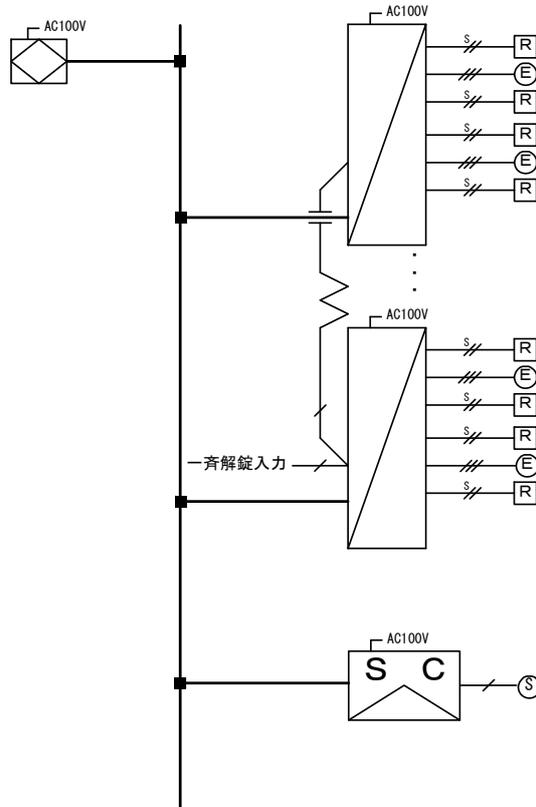
- (1) システムに登録されたログインIDとパスワードによりログインすることが可能である。
PaSoRiからカードコードを読み込みログインすることが可能である。
- (2) ログインした個人のログインIDおよび氏名を画面に表示する。
- (3) 一定時間操作が行われないと自動的にログオフさせることが可能である。
時間は、設定により変更が可能である。

4-2. 画面

- (1) 以下の大項目ごとにタブ表示となっている。
 - 1) メインビュー
表示する機能は、設定で変更が可能である。
 - 2) 一般
表示する機能は、フロア表示、ステータス表示、履歴表示である。
 - 3) 運用
表示する機能は、個人登録、連続解錠時間帯設定、報告書、操作ログ報告書、在室時間集計である。
 - 4) 設定A
表示する機能は、所属登録、区分登録、ユーザグループ設定、カレンダー、入退室制限時間帯設定、時刻設定である。
 - 5) 設定B
表示する機能は、バックアップ、ゲートグループ登録である。
 - 6) 設定C
表示する機能は、ログインID登録である。
 - 7) システム
表示する機能は、フロア階層登録、エリア管理、ゲート登録、フロア登録、初期設定である。
 - 8) お気に入り
 - a. ログインIDごとに登録した機能を表示する。
 - b. タブ名称は、任意に設定が可能である。
- (2) タブは、運用により追加・削除、表示・非表示が可能である。
- (3) ブラウザの画面枠のドラックにより、ブラウザ内の各機能画面のサイズも変化する。
- (4) タブごとに各機能画面のレイアウトは自由に設定することが可能である。

5. 系統図

5-1. 管理用パソコン1台運用



— 凡 例 —

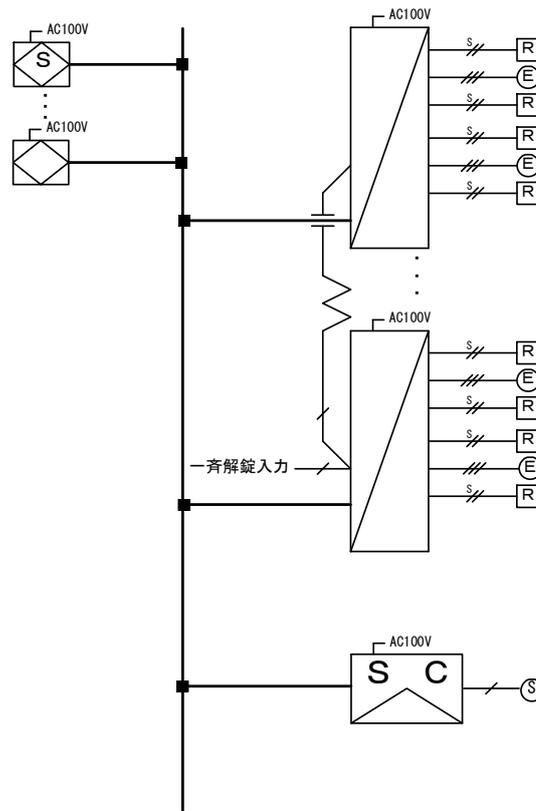
-  管理用パソコン
-  出入管理装置
-  センサ監視盤

-  電気錠
-  センサ

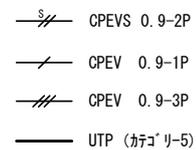
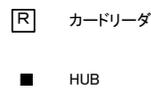
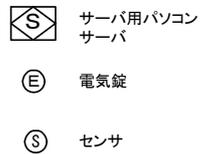
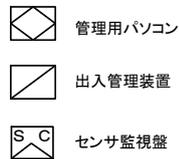
-  カードリーダー
-  HUB

-  CPEVS 0.9-2P
-  CPEV 0.9-1P
-  CPEV 0.9-3P
-  UTP (カテゴリ-5)

5-2. 管理用パソコンとクライアントパソコン複数台運用



— 凡 例 —



6. 登録商標について

- ・ Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標また商標である。
 - ・ Intel、Pentiumはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標である。
- その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標である。